

平成30年11月6日（火）
国土交通省 関東地方整備局
企画部

記者発表資料

インフラメンテナンス国民会議 「第1回 関東地方フォーラム イベント」を開催。

社会インフラの維持管理・更新に関する課題に対して、産学官民が有する技術や知恵を総動員する「インフラメンテナンス国民会議」の仕組みを地方レベルで展開する関東地方フォーラムを設立しております。

設立後の初めての取り組みとして「第1回 関東地方フォーラム イベント」を下記のとおり開催します。

記

1. 日 時：平成30年11月9日（金）15：00～17：15（開場14：45～）
2. 場 所：中央合同庁舎2号館 国土交通省第2会議室A・B
3. 内 容：①インフラメンテナンス国民会議について
②事例紹介（橋梁モニタリング技術の現場試行状況）
③ワークショップ（テーマ：橋梁の点検効率化にむけた課題整理）
※詳細は別添1プログラムをご覧ください。
4. 取 材：本会議では、「インフラメンテナンス国民会議について」までを公開とさせていただきます。（「事例紹介」以降は、非公開とさせていただきます。）
会場での取材（傍聴・カメラ撮り）が可能です。取材を希望される報道関係者の方は、11月8日（木）17時までに、別添2により事前登録が必要です。当日は開始10分前までに、上記2.の会場前にお集まり下さい。

※「インフラメンテナンス国民会議」及び「関東地方フォーラム」に関しては、別添3をご参照下さい。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 企画部 TEL. 048-601-3151（代表）

FAX. 048-600-1372

技術企画官 おしだ かずお 押田 和雄（内線3126）、企画課 建設専門官 もりや たけし 守谷 武史（内線3153）

インフラメンテナンス国民会議

「第 1 回 関東地方フォーラム イベント」 プログラム

14:45	開場
15:00~15:05	開会 挨拶
15:05~15:10	インフラメンテナンス国民会議について 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課
15:10~15:45	<p>事例紹介 橋梁モニタリング技術の現場試行状況</p> <p>① 「UAV 撮影画像を用いたコンクリートのひび割れ画像解析技術」 大成建設株式会社</p> <p>② 「橋梁点検ロボットカメラの社会実装」 三井住友建設株式会社 株式会社日立産業制御ソリューションズ</p> <p>③ 「加速度センサを用いた橋梁の洗掘量のモニタリング試行状況について」 長野計器株式会社</p> <p>④ 無線センサを用いた下部工基礎の洗掘時・地震時のモニタリング 株式会社福山コンサルタント</p> <p>⑤ 橋梁の健全度モニタリングシステム オムロンソーシャルソリューションズ株式会社</p> <p>⑥ 塩害モニタリング技術の事例紹介 モニタリングシステム技術研究組合</p>
15:45~17:10	<p>ワークショップ</p> <p>1) 目的 : 自治体のニーズ掘り起こし</p> <p>2) 討議テーマ : 橋梁の点検効率化にむけた課題整理</p>
17:10~17:15	講評
17:15	閉会

国土交通省 関東地方整備局 企画部企画課 あて (FAX 048-600-1372)
(担当: 守谷・斎藤)

インフラメンテナンス国民会議
「第1回 関東地方フォーラム イベント」

取材申込書

取材を希望する場合は、この様式により上記連絡先までFAXでお申し込み下さい。
申し込み締め切りは、11月8日(木)17時(期限厳守)です。

会社名及び部署名

取材者 役職・氏名 (全員の役職・氏名を記載願います)

① (代表者)

②

③

テレビカメラの持ち込みの有無

(該当するものに○をつけて下さい) 有 ・ 無

連絡先 (代表者の連絡先)

■留意事項■

- 1) 出席者への取材はできません。
- 2) 現地担当者の指示に従って下さい。
- 3) 当日のスケジュール変更の可能性もございますのでご留意下さい。
- 4) 本会議では、「インフラメンテナンス国民会議について」までを公開とさせていただきます。「事例紹介」以降は、非公開とさせていただきます。

■インフラメンテナンス国民会議

インフラメンテナンス国民会議(平成28年11月28日設立)

設立の背景

- インフラは豊かな国民生活、社会経済を支える基盤であり、急速にインフラ老朽化が進む中で施設管理者は限られた予算の中で対応しなければならず、インフラメンテナンスを効率的、効果的に行う体制を確保することが喫緊の課題
- 豊かな国民生活を送る上でインフラメンテナンスは国民一人ひとりにとって重要であることから、インフラメンテナンスに社会全体で取り組むパラダイムの転換が必要

目的

1. 革新的技術の発掘と社会実装
2. 企業等の連携の促進
3. 地方自治体への支援
4. インフラメンテナンスの理念の普及
5. インフラメンテナンスへの市民参画の推進

国民会議の性格

産官学民が連携するプラットフォーム



設立の位置付け

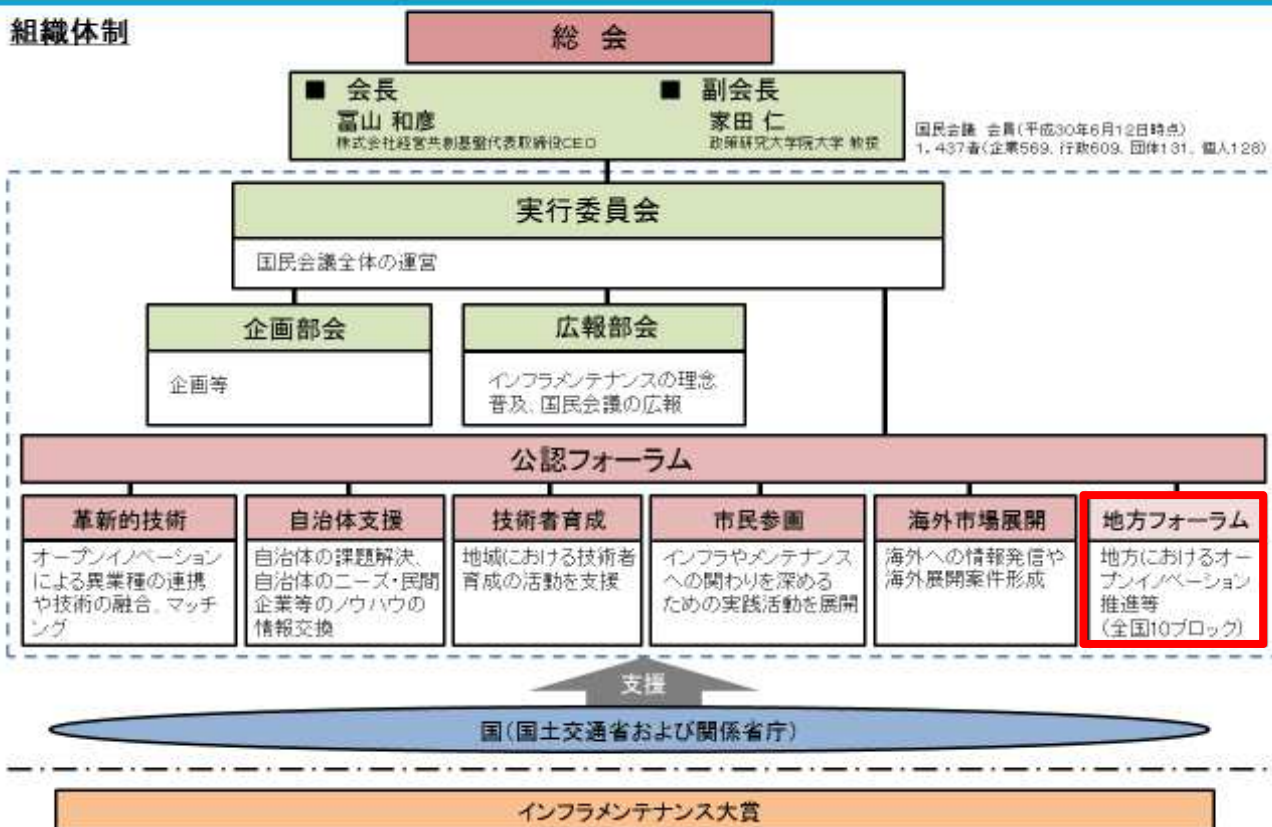
- 社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会 提言(平成27年2月)
「社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進方策」
- 日本再興戦略改訂2015-未来への投資・生産性革命-(平成27年6月30日閣議決定)
- 日本再興戦略2016-第4次産業革命に向けて-(平成28年6月2日閣議決定)
- 政務官勉強会 提言(平成28年7月29日)

準備状況

- 意見交換会(平成27年11月~12月、平成28年4月)2回
- 部会・フォーラム準備会(平成28年6月2日~9月29日)延べ11回

インフラメンテナンス国民会議 推進体制

組織体制



■関東地方フォーラム

インフラメンテナンス国民会議 今後の地方展開について

- ベストプラクティスの全国的な普及に向けて、各フォーラム等の地方における活動(地方フォーラム)を展開
- H30年度より、全国10ブロックにおいて地方フォーラムの取組を展開

〈地方フォーラムの設立状況〉

地方フォーラムの設立・運営に関心のある会員をメルマガで呼びかけ

10ブロックが設立

(北海道、東北、関東、北陸、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄)

